

内容別・観点別の分析 (様式2)

	内容別結果分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な形を描くデッサンでは、光と影の関係性をとらえ、立体的な絵を描くことができた。 ・色彩の学習では、色についての知識をしっかりと学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の線を立体の面に沿って描くように指導したが、うまくできなかった生徒が多かった。また、力の加減ができず、1本1本の線が雑になってしまったため、明暗の表現がうまくいかない生徒がいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光と影の関係をとらえながら描くことができる生徒は多いが、鉛筆の使い方がうまくできていない生徒が多いため、鉛筆の使い方の基本を改めて指導する必要がある。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの学習では、明朝体、ゴシック体の特徴を理解し、形を正確に描くことができた。また、色相の組み合わせについても学習し、しっかりと理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に男子生徒に当てはまるが、ポスターカラーを用いて彩色することが苦手な生徒が多いように感じる。 ・発想についても、しっかりとアイデアを練っている生徒と、なんとなくやっている生徒に分れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆や定規を使っでの作業はほとんど生徒ができていますが、筆を使った作業や水分量の調節が苦手な生徒が多いため、ポスターカラーの使い方の基本を改めて指導し、徐々にレベルアップさせていく必要がある。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・木彫六角箱の制作では、彫刻刀の使い方を理解し、浮き彫りの技法を用いて立体的な表現をすることができた。 ・修学旅行前には、仏像について学習し、学んだ知識を活かしながら仏像や文化財を鑑賞することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインが細かすぎてしまい、彫ることができなくなるなど、立体的なイメージをもってアイデアスケッチをすることができなかった。 ・仏像について学び、京都や奈良で実物を目の前にして、興味深く鑑賞することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻刀を安全に正確に使うことはできているが、絵柄が重なりあっている所など、どこを彫ったらいいのかわからなくなってしまう生徒がおり、立体的なイメージをもって作業に取り組むことができていなかった。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の使い方(線の描き方、力の加減)がうまくできていない生徒が多いため、引き続き鉛筆による作品制作に取り組み、鉛筆の使い方の基本を指導する必要がある。 ・生徒が意欲的に取り組む授業になるように心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの授業をするときや鉛筆を使って作品をつくる際にスケッチブックを使って、力の入れ具合や手の動かし方を段階をおって指導する。 ・達成感をもたせるため、良い点を認め、褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本をしっかりとマスターできるように、基礎的な作業に十分な時間をかける。そのためにも余裕をもった計画をたてるよう心掛ける。 ・発想や構想を練る時間と技術を身に付ける時間とのバランスをとる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターカラーの水分量の調節やパレットのふちで筆を整えてから描くことなど、改めて指導する必要がある。 ・主に美術が苦手な生徒に当てはまるが、集中力や根気が続かず、雑な作品に仕上がってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導だけではなく、授業者が実演をしてみせるなど、生徒にイメージをもって取り組ませる指導を行う。 ・できる限り単純な作業にならないよう、題材を工夫し、生徒が意欲的に取り組めるように改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本をしっかりとマスターできるように、基礎的な作業に十分な時間をかける。そのためにも余裕をもった計画をたてるよう心掛ける。 ・発想を考える時間と技術を学ぶ時間とのバランスをとる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・切り出し刀の使い方が正確にできていない生徒が多かったため、指導に時間をかける必要がある。 ・立体的なイメージをもつことができるように、導入の授業でしっかりと説明する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を徹底し、彫刻刀の使い方が間違っている生徒に指導をする。 ・導入の授業の際に、黒板に図を描いて説明するなど、指導方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本をしっかりとマスターできるように、基礎的な作業に十分な時間をかける。そのためにも余裕をもった計画をたてるよう心掛ける。 ・授業時数の少ない中で、生徒に時間配分や作業スピードを意識させ、授業に取り組ませる。